

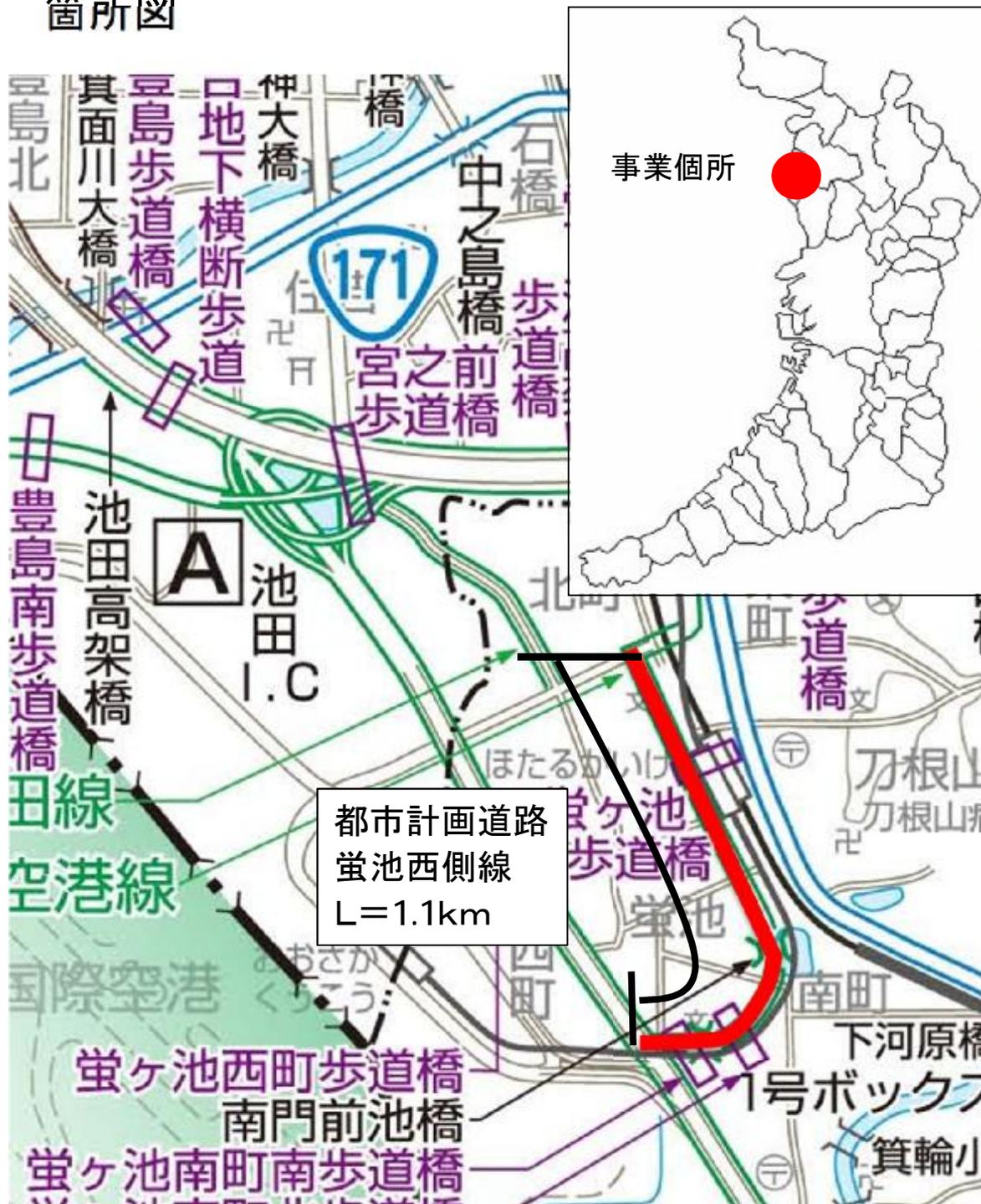
事後評価点検表

事業名	都市計画道路 蛭池西側線
担当部署	都市整備部交通道路室都市交通課連立・鉄軌道グループ（連絡先 06-6944-9281）
事業箇所	豊中市蛭池南町三丁目～豊中市蛭池中町四丁目
内容	<p>この路線は、阪急宝塚線西側地区の円滑な交通処理を分担する路線として整備をしたものである。これにより、大阪モノレールの蛭池駅と大阪国際空港を結ぶ、都市計画道路蛭池西側線の事業が完成することとなる。今回の事業に伴い、豊中市蛭池南町地区等から蛭池駅方面へ、安全に通行ができるようになり、また、主要地方道大阪池田線との接続し、大阪市内方面及び大阪国際空港から蛭池駅方面、蛭池駅方面から大阪市内方面への通行が可能となる。（最終評価：H13 再評価）</p> <p>事業延長 1.1km 道路幅員 15.0m～26.5m</p>
関連事業とその現状	関連事業である「大阪モノレール」事業は全線で1日約10万人の利用者を得ており、沿線の円滑な交通処理に寄与している。
社会経済情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> 最終評価時点（H13）と完成時点（H17）とで、本事業をとりまく社会経済情勢に大きな変化は見られない。
事業実施による自然環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> 市街地地区での事業であり、自然環境に大きな変化はない。
最終評価時の意見 具申と府の対応	<p>【最終評価時の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用地問題の目途が立ち、生活道路への通過交通の流入による交通安全上の問題が発生しており、蛭池駅前再開発事業の推進による今後の更なる交通量の増加に対応するため、本事業については、事業を再開することが妥当であると判断する。 <p>【府の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的に判断した結果、地元関係者とも十分協議しながら、全区間の早期供用に向け本事業の推進に努めていく。

	【最終評価時点 H13】	【完了時点 H17】	【分析】
事業費	199 億円	218 億円	工事費及び用地、物件補償費の増
①事業期間 ②採択年度 ③着工年度 ④完成年度	①19 年 ②昭和 61 年度 ③昭和 61 年度 ④平成 17 年度	①19 年 ②昭和 61 年度 ③昭和 61 年度 ④平成 17 年度	予定通り完成。
定量的効果 (費用便益分析等)	【B/C】 1.04	【B/C】 1.03	【B/C】 大きな変化はない。
定性的効果	<ul style="list-style-type: none"> 豊中市蛭池地区の阪急宝塚線西側地域における円滑な交通処理を分担する重要路線であり、平面街路である本路線を府道として整備し、高架構造の「大阪モノレール」と立体的、複合的に機能させることにより、貴重な都市空間の利用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 	<ul style="list-style-type: none"> 所期の目的を達している。

その他特記事項	なし
評価結果	<ul style="list-style-type: none">・事業期間や事業費等については、用地買収の遅延や事業費の増加が生じたが、最終評価時点からは事業計画どおりに完成。
今後の同種事業に対する改善措置等	<ul style="list-style-type: none">・事業計画について、用地買収に苦慮したことを踏まえ、今後、より早い時期からの地元関係者との協議や広報展開に努める。

箇所図



標準横断図

